

火の活動

# 紐切り式火おこし

協力して火おこしをして、火の大切さを感じてみよう。



対象	小学4年生以上
時間のめやす	1時間程度
持ちもの	軍手、新聞紙、ろうそく（つけた火を保管する場合）
貸出品	火おこしセット（1セット5人程度） →火きり棒・火きり板・下敷用の板・ハンドピース・ロープ・麻ひも ※セットは事前にお申し込みください。費用は「利用の手引き」をご参照ください。



- ①ロープは地面と平行に引っ張り合います(下の写真④)。傾くとハンドピースを押さえる人の手に当たり、ヤケドをする場合があります。  
 ②火種に息を吹きかけるとき(下の写真⑥)、急に炎が立ち上がることがあります。ヤケドをしないように十分気をつけてください。

 <p>1 麻ひもをほぐす。新聞紙で『受け皿』を作り、写真のようにセットする。  <u>麻ひもはなるべく細かくほぐそう。</u></p>	 <p>4 ロープの両端を持ち、矢印の方向に交互に引っ張り合う。始めは長くゆっくりと。</p> <p>ロープは地面と平行にし、一直線にピンと張ったまま引き合うのがポイント。</p>
 <p>2 ロープを火きり棒に2回巻きつける。  <u>ロープが足に擦れないよう、写真のようにロープが3本並んでいるほうを正面にする。</u></p>	 <p>5 火きり板のV字の溝に木クズがたまり、煙が出てきたら、短くすばやく引き、火種を作る。</p> <p>黒いかたまりができたら、優しく息を吹きかけよう！赤く光ったら火種だ！</p>
 <p>3 真ん中の人がハンドピースを上から押さえつける。  <u>すねでハンドピースを抑えるのがポイント。</u></p>	 <p>6 できた火種を①の受け皿に載せ、包むようにして横から息を吹きかける。    炎が起ければ、成功！  <u>息は細く強く長く吹くのがポイント。</u></p>

このアクティビティシートは、愛川ふれあいの村利用者に役立つ活動情報を提供するためのものです。  
 目的外の使用、内容の改変、WEB等への転載を禁じます。